



令和4年度
八代市立植柳小学校 学校だより

いずかし

令和4年6月20日
植柳小学校長 大住和行



子供が活躍できる場をつくる 他者の役に立つ、他者に喜んでもらう経験

右の写真は、6月1日に行ったスポーツテストの様子です。上体起こし（いわゆる腹筋）を下級生がするのを、上級生が支えて、回数を数えています。スポーツテストでは、このように、上級生が下級生のお手伝いをしながら、様々な種目の測定を行いました。

学校行事の一つですが、この行事を通して、お世話をする側の上級生に育てたい感覚がありました。それは、「自分以外の他者の役に立った。」

「他者に喜んでもらった。」という感覚です。この感覚は、自分一人だけでは味わうことができません。人と関わる中で生まれる感覚です。

この写真からも、上級生が下級生を「がんばれ。」と励ましたり、「すごいね。」とほめたりしている姿が想像できます。下級生がニコニコと笑顔を見せてくれたら、それは上級生にとって大きな喜びであったに違いありません。

学校行事などをおして「誰かの役に立った」「誰かに喜んでもらった」という経験ができる場をこれからもつくっていきたいと思います。



マスクの着用についてのお知らせ



新型コロナウイルス感染症は減少傾向にあるとはいえ、学校においては、基本的な感染症対策として、引き続きマスクの着用を継続しています。マスクの着用が必要か否かの判断は、原則として「会話の有無」と「2m以上の間隔の確保の有無」に基づいています。

- ・ 会話をほとんど行わず、人と人の間隔が2m以上確保できる ⇒ 着用の必要はありません
- ・ 間隔2m以上は確保できないが、屋外で、会話をほとんど行わない ⇒ 着用の必要はありません
- ・ 会話を行うが、屋外で、人と人との間隔が2m以上確保できる ⇒ 着用の必要はありません

このほかに、熱中症防止のために、登下校時や体育の授業中など、マスクを外させる場合もあります。